パクリタキセル+アバスチン療法

投与スケジュール

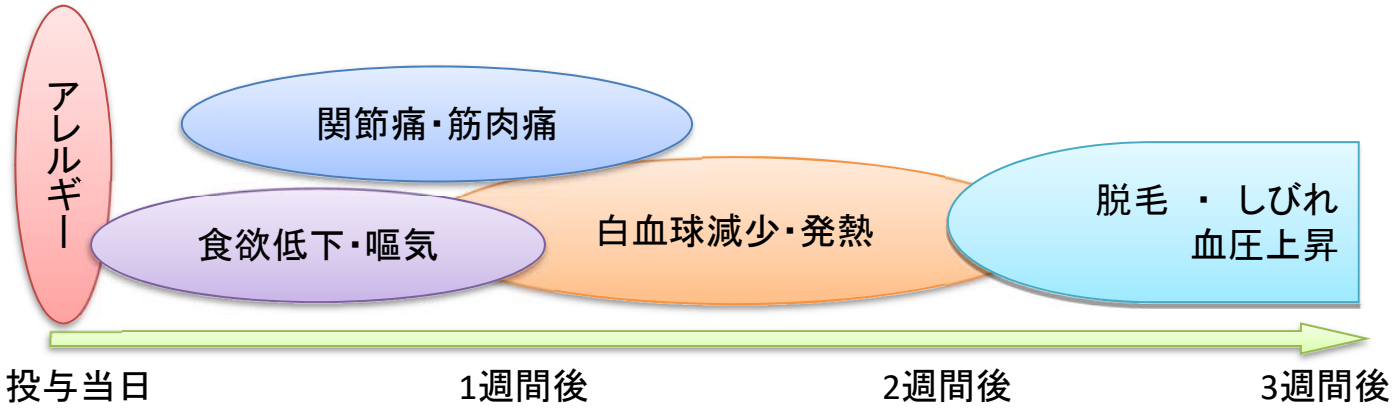
スケジュールは
変更になることがあります

外観	お薬名	点滴時間	薬の効果	スケジュール(日)			
				1	8	15	16-28
	レスタミン錠	―	アレルギー予防	●	●	●	お休み
	吐き気止め アレルギー止め	30分	吐き気・アレルギー予防				
	パクリタキセル	1時間	がん細胞の 増殖を抑えます				
	アバスチン (成分名) (ベバシズマブ)	初回90分 2回目60分 3回目～30分	がん細胞を 兵糧攻めにします	●	―	●	

点滴中の注意

- 投与中にアレルギー症状が起こることがあります。
  点滴投与中に息苦しさや顔のほてり、吐き気・気分不快などの症状があらわれた場合は我慢せずに医療スタッフまで申し出てください。
- 点滴部位に強い痛みや腫れ、かゆみを感じた場合は早めに医療スタッフまでお知らせください。
- アルコール(ビール約コップ小１杯分)が含まれています。少量の飲酒で具合が悪くなる方はお知らせください。 **また点滴当日は車の運転など注意が必要な作業は避けましょう。特に外来投与日は必ずご自身以外の方の運転、もしくは公共機関でご来院下さい。**
- 点滴終了時に眠気やふらつきを感じる場合は、無理せず気軽に医療スタッフにお声かけ下さい。

起こりやすい副作用の発現時期と対処



食欲不振・吐き気・おう吐

- 抗がん剤を投与した日から1週間目ごろまで、食欲が落ちたり、吐き気やおう吐といった症状が見られることがあります。
- 無理せずに、食べやすいものを少しずつ摂るようにしましょう。
- 吐き気止めの追加や予防内服で症状を改善できる場合があります。症状がある場合は気軽にご相談ください。

関節痛・筋肉痛

- 点滴から2,3日後から5~7日後ごろまで一時的に関節痛・筋肉痛が現れることがあります。
- 痛み止めで症状を和らげられる場合があります。ご相談ください。

しびれ

- 投与3回目ごろから、手首から指先・足首から足先にかけて刺すようにしびれたり感覚が鈍くなることがあります。
- 抗がん剤投与が続くと、しびれが強くなったり長く続く傾向があります。
- 箸が持ちにくい、ボタンがかけづらい、つまづきやすいなど日常生活に影響がある場合はご相談下さい。

骨髄抑制

- 抗がん剤投与から１～2週間後に白血球が減少することがあります。
- 白血球が減ると体の抵抗力が弱くなり感染症にかかりやすくなります。
- 感染予防のために、外出の際は人ごみをさけ、手洗い・うがいをこまめに行いましょう。

高血圧

- 血圧が高くなることがあります。日頃から血圧を測定し、記録しましょう。
- 症状に応じて降圧薬を使用することがあります

出血傾向

- 鼻や歯肉などから軽度の出血が起こることがあります。
- 鼻からの出血は通常軽く、自然にまたは圧迫することで止まります。
- 抜歯など、出血を伴う歯科治療を行う場合は、事前にお知らせください。
- 10～15分たっても血が止まらない場合は、病院までご連絡ください。

血栓症

- まれに、血管の中に血のかたまり（血栓）ができることがあります。
- 以下の症状ガある場合は、病院に連絡ください。静脈血栓：足がむくんだり・痛くなる、突然息切れがする。 動脈血栓：呂律が回らない、胸が痛む。
- 血栓の予防には適度な運動と水分摂取が有効です。

消化管穿孔

- ごくまれに胃や腸に穴があくことがあります。
- 今まで経験がないほど強い腹痛を感じたときは、すぐに病院へ連絡してください。

自宅でこのような症状が現れたら、必ずご連絡下さい

- 38度以上の発熱があるとき
- 乾いた咳が続く、または息切れを感じるとき
- 1日の半分以上を寝てすごすほどのだるさがあるとき
- 吐き気止めの薬を内服していても、1日6回以上の嘔吐、または水分をとれないほどの吐き気があるとき
- 1日7回以上の下痢があるとき
- 血圧が180を超えて、頭痛やめまい、視野がぼやけるとき
- 点滴した部位が赤く腫れてきた、痛みや熱感がある
- 皮膚に発疹やじんましんが出てきた

病院へ電話する前に確認しましょう

① 診察券番号
② おかかりの診療科
③ 主治医の名前
④ 抗がん剤治療中であること
⑤ 気になる症状（具体的に）

連絡先

横浜市立大学附属病院　　TEL：045-787-2800（代表）

《平日8：30～17：00》
おかかりの診療科外来へ電話をつなぐように伝えてください

《夜間および休日 》
おかかりの診療科の医師に相談したい旨を伝えてください

※ここに診察券の内容を写しましょう

診察券番号：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

お名前：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿